

「第11回SUN-IN未来ウオーク」(NPO法人未来、新日本海新聞社主催)が4、5の阿日、倉吉市駄経寺町の倉吉パークスクエアを発着点に県中部地域の豊かな自然や古い町並みを巡るコースで行われた。



全国から2日間で計3130人のウォーカーが参加。初夏の伯耆路を元気いっぱい歩き、会場やチェックポイントなどでは地元ボランティアがウォーカーをもてなした。大会の様子をカメラで追った。

自然豊かな伯耆路

3130人元気に歩く



謎は解けた? 歩を進めるウォーカーを「コナン君」も応援?
＝北栄町由良宿



竹林越え 竹林に姿を歪めた旧国鉄倉吉線跡を歩くウォーカー＝倉吉市関金町



ホッ

「疲れたいをやすには湯気が強。ゴール後、足湯につかるベテランウォーカー＝倉吉市駄経寺町の倉吉パークスクエア」



ひと休み

「じみ汁に舌鼓、この後も元気な歩者」＝湯梨浜町引池の中国庭園「燕趙園」



スタート

それぞれの体力に応じたコースに出発する参加者＝倉吉市駄経寺町の倉吉パークスクエア